

令和2年度 第7回 大分大学医学部附属病院 介入臨床研究審査委員会
会議の記録の概要

開催日時	2020年10月13日(火) 16:50~17:54
開催場所	Webによるテレビ会議
出席委員名	上村委員長、糸永副委員長、緒方委員、沖本委員、富永委員、石崎委員、杉田委員、今井委員、北條委員、大嶋委員、宮崎委員、廣田委員、小嶋委員、二宮委員、海老名委員

議題及び審議結果を含む主な議論の概要

■□■ 修正対応事項の確認または迅速審査の報告 ■□■

整理番号	研究題目	内容
B20-004	人工知能による術中ランドマーク教示システムを用いた腹腔鏡下胃切除術の導入に向けた探索的研究	研究計画書、説明文書、同意文書の修正対応について報告した。

■□■ 新規依頼 ■□■

整理番号	研究題目	内容	審査結果
B20-005	JCOG1916	実施計画書等の内容について議論し、自主臨床研究実施の妥当性について審議した。	修正の上承認
B20-006	人工知能による術中ランドマーク教示システムの手術シーン認識・手術難易度判定システム導入による教示精度向上に関する探索的研究	実施計画書等の内容について議論し、自主臨床研究実施の妥当性について審議した。	修正の上承認

■□■ 継続審査 ■□■

整理番号	研究題目	内容	審査結果
B11-045	超円満患者や内因性インスリン分泌不良糖尿病円満患者に対する腹腔鏡下スリーブ状胃切除術+十二指腸空腸バイパス術(胆管バイパス術)	実施状況報告書に基づき、自主臨床研究を継続することの妥当性について審議した。	承認
B11-046	腹腔鏡下円満外科手術後のRoux-en-Y 胃バイパス術	実施状況報告書に基づき、自主臨床研究を継続することの妥当性について審議した。	承認
B12-022	中等度円満症に対する腹腔鏡下スリーブ状胃切除術	実施状況報告書に基づき、自主臨床研究を継続することの妥当性について審議した。	承認
B14-008	ウイルスに起因する難治性の眼感染症疾患に対する迅速診断(PCR法)	実施状況報告書に基づき、自主臨床研究を継続することの妥当性について審議した。	承認
B14-009	細菌又は真菌に起因する難治性の眼感染症疾患に対する迅速診断(PCR法)	実施状況報告書に基づき、自主臨床研究を継続することの妥当性について審議した。	承認
B15-018	新規眼感染症網膜PCR検査ストリップ開発に関する多施設共同研究	実施状況報告書に基づき、自主臨床研究を継続することの妥当性について審議した。	承認
B17-016	神経伝導検査装置を用いたオキサリプラチン、パクリタキセルおよびナブパクリタキセルによる末梢神経障害の評価法の検討	実施状況報告書に基づき、自主臨床研究を継続することの妥当性について審議した。	承認
B18-005	HBV既往感染歴を有する同種造血細胞移植レシピエントに対する、HBワクチンによるHBV再活性化予防法のランダム化臨床試験	実施状況報告書に基づき、自主臨床研究を継続することの妥当性について審議した。	承認

■■■ 責任医師からの報告 ■■■

整理番号	研究題目	
B16-021	脾本尾部切除での脾実質切断における脾臓同離個別処理と脾臓同断の多施設共同無作為比較第Ⅲ相試験	自主臨床研究の終了について報告した。